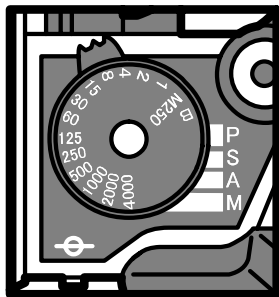
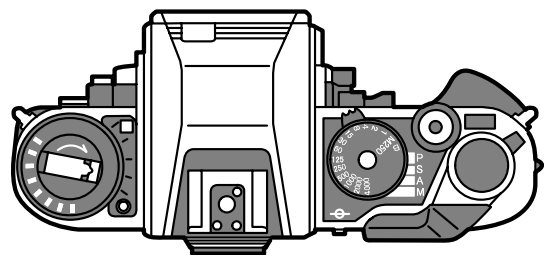
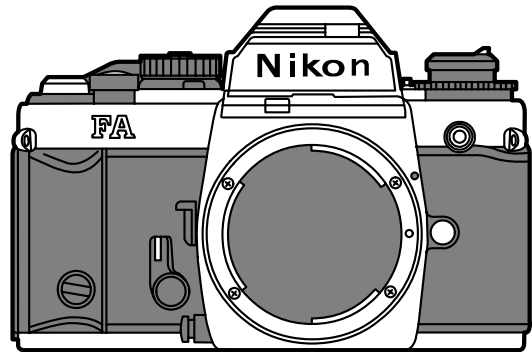


Nikon FA

スペック	
シャッター	1/4000 ~ 1秒・B (電子シャッター)
X接点	1/250秒
測光方式	多分割 (マルチパターン) 測光、中央部重点測光
撮影モード	絞り優先 / シャッタースピード優先 / プログラム / マニュアル
サイズ	142.5 × 92.0 × 64.5mm
重量	625g
発売年	1983年
新品価格	- 絶版 -
中古相場	45,000 ~ 60,000前後
備考	モータードライブ装着可。 露出計は液晶によるデジタル表示。 絞り値は光学直読式。 ファインダー視野率93% ファインダー倍率0.8倍



5分割のマルチパターン測光は、現在のカメラの測光方式を先取りするものだった。当時は中央部重点測光が主流であったが、逆光時には役に立たなかった。FAでは、画面を5つのエリアに分け、そのエリアごとの明るさをマイクロプロセッサが比較し、最適な露出値を演算するのだ。

また、FE2に続いて1/4000秒のシャッターを搭載し、まさに時代の最先端だった。

「カメラグランプリ'84」を受賞した記念に発売された「ゴールドFA」も話題になった。このゴールドFAは、たまたま中古カメラ店で見かけるが、45万円の値が付いていた。

ゴールドはともかく、F3に似たデザインや1/4000秒高速シャッターには、我輩も憧れたものだった。

そのFAを初めて手に持ったのは、ごく最近のことだ。そのFAは2台あったが、どちらも程度があまり良いものではなく、シャッターを切った時に「キシュン！」という鳴き現象が見られた。たまたまその2台のコンディションが悪かったのだろうが、我輩のFAに対する熱は、この時一気に冷めてしまった。

カメラとしては、これはなかなか良くできていると思う。電子カメラの便利さと、ダイヤルカメラの操作系が見事に融合している。質感もある。ただ、撮影モードの切り替えがプログラムモードや絞り優先モードの位置にあると、シャッターダイヤルの設定が無効となる。シャッターが自動になるのだから当然なのだが、どうしてもダイヤルの設定位置のほうを見てしまうのだ。設定レバーやファインダー表示を確認すれば済むことなのだが、我輩は普段、その部分はあまり見ないのだ。これは慣れるしかない。